



2007・10

NO.16

LETTER

目次

- ◆ みょうりんおひさま発電プロジェクトが終わりました
つくし保育園でおひさまプロジェクトが始まります(大西 啓子)・・・2
- ◆ 春日野のグリーンカーテン (箱田 結)・・・3
- ◆ グリーンファンド誕生と市民共同発電所設置
「10号機を節目にさらなる広がりを」 (関 明美)・・・4
- ◆ こんな省エネ実践を楽しんでまあ～ず (近藤 大晴)・・・5
- ◆ 市民共同発電所全国フォーラム2007の報告から
「おひさま発電所の展開 in 京都」 (大西 啓子)・・・6
- ◆ 太陽光発電の導入数
「世界一」からすべりおちた日本 (林 敏秋)・・・7
- ◆ 2007年総会を終えて ・・・7



特定非営利活動法人
きょうとグリーンファンド

みょうりんおひさま発電
プロジェクトが終わりました

つくし保育園（伏見区醍醐）で
おひさまプロジェクトが始まります

点灯式は、07年5月12日（土）「はなまつり」の行事にあわせ園児、その家族など250人が参加しました。子どもたちの「おつとめ」から始まった式は、ご住職のお釈迦様誕生のお話、保育士さんたち自作の温暖化と省エネを題材とした紙芝居とペーパーサート、そして小さなお釈迦様が立っておられる「花御堂」が、きらきらとした光に包まれた点灯の瞬間でクライマックスを迎えました。

妙林苑は今年70周年を迎える北区の保育園、近隣の商店街には「3代にわたってお世話になりました」というお店もあって、「みんなでつくろう！おひさま発電所」のポスターを快く貼っていただきました。「地域でおひさま発電所作りに取り組む」第1歩が踏み出せたのではないかと思います。園では行事や日々の活動を「エコに」と、地域の発信拠点としての取り組みが始まっています。どんな発信が始まるのか…、近くの小学生がおひさま発電所を見学して温暖化防止にとりくむきっかけになったらいいのに、などと楽しみにしています

つくし保育園は醍醐の山手にある保育園です。教会の敷地の中にあって、園長先生のお宅もその中にありました。「実は以前からおひさま発電所を作りたいと思っていたんです」（それならもっと早く出会っていたらよかったのに・・・）「随分費用がかかると思っていましたから・・・」（みなさんのお陰でおひさま基金も力をつけてきましたよ）というわけで、10月からプロジェクトが始まりました。今回は新型のCIS薄膜系のモジュール4kW規模の太陽光発電設備を設置します。

園には柿や栗、ブルーベリーなど実のなる木がいっぱい。何ったときにはざくろが大きく膨らんで、銀杏がたわわに実をつけていました。小さな畑もあって、子どもたちの元気な声が聞こえてきそうでした。

きょうとグリーンファンドとしては11号機目のおひさま発電所、KESを取得した企業グループの参加も含め、新しいプロジェクトの始まりにわくわくしています。みなさんのご協力よろしくお願い致します。

みょうりんおひさま発電プロジェクト 収支報告

2007年7月30日（1000円以下切捨）

収入の部		支出の部	
「みょうりんおひさま発電プロジェクト」 寄付金（130件）	842,000	設備設置費	11455,000
		印刷費	554,000
		記録費	69,000
NEDO補助金	6,300,000	セミナー関係費	160,000
		コーディネート費	200,000
妙林苑資金	3,990,000	通信運搬費	26,000
		旅費交通費	31,000
きょうとグリーンファンド「おひさま基金」	15,00000	事務連絡費	133,000
		雑費	6,000
収入計	12,635,000	支出計	12,635,000

春日野園（7号機）のグリーンカーテン

箱田 結（京都府地球温暖化防止活動推進員）

グリーンカーテン作りには一度挑戦したいと思っていたところ、京都府地球温暖化防止活動推進センターより近所の春日野園（保育園）でのゴーヤの植付・ネット張りの手伝いの話が来て、5/22に出掛けた。八幡市の原田守さん（京都府地球温暖化防止活動推進員）の指導のもと、西向きの教室がグリーンカーテンで保護され



第1図 草敷き 5/31

るように2階テラスにある手すりまでネットを張り、25ℓプランター12個に1本ずつゴーヤの苗を園児とともに植え付けた。（他、府地球温暖化防止活動推進センター職員2名、府推進委員3名、きょうとグリーンファンド2名が参加した）

5/31 プランターの水の蒸発を防ぐため、刈った草を敷き詰めた（第1図）。二週間後の6/5に1回めの追肥を行い2ℓのペットボトル給水器を先生方と作成し各プランターに設置した。6/17 園に2つの雨水タンクが設置された。大切な水やりは午前中は保育園児が、午後は児童館の児童が先生方と一緒にいった（第2図）。



第2図 水やり 6/23

初苗の成長がバラバラに思えたが7月に入って背の高さをこえるとどんどん成長を始めた（第3図）。

この頃になるとゴーヤの実が大きくなり 7/11 最初の収穫を行い、それからは10本/週のペースで収穫された。8月始め給食に“ゴーヤチャンプルー”を出され、子ども達に感想を聞いたら「ちょっと苦かったけど全部食べた。美味しかった!」と。



第3図 七夕まつり 7/7

お盆明けには緑のカーテンも分厚く完成し、残暑厳しい太陽光線をほとんど遮断できるまでになった（第4図）。

ゴーヤの収穫量も100本になったようで、このまま9月一杯保って欲しいと願っている。先生方や子ども達が熱心に水やりや追肥を行われたので立派なグリーンカーテンに成長したものと思われる。あえて気がついたことを挙げるならペットボトル給水器の誘水紐が子ども達の水やりの時に一部が外れてしまった事と、グリーンカーテンの高さを2階テラスまでとした為か、かなり分厚いものとなったので、次からはプランターの間隔をもう少し離して設置すれば遮光に加えて風通しも良いカーテンになると思われる。



第4図 ゴーヤの内側で勉強 8/22



各組織 団体など多くの支えで

2000年11月、NPO きょうとグリーンファンドの誕生と同時に、市民共同おひさま発電所1号機の設置に向けて「むささびソーラープロジェクト」が始まりました。左京区・法然院森のセンター「共生堂」の屋根に30枚のパネルが取り付けられ、2001年3月3日、待望の点灯式を迎えました。その日からほぼ6年。今年5月、10号機、北区・みょうりんおひさま発電所の点灯式が行われました。

10号機というささやかな区切りを機会に、いろいろな数字をまとめてみました。一部は一覧表を参考にさせていただくとして、10号機までの総事業費は8235万円。うち公的な補助金が3468万円、京都ライオンズクラブの創設50周年記念事業から1000万円、東洋ゴムグループ環境保護基金、京都華頂ライオンズクラブからの助成金や寄付金、そして昨年からは合同会社きょうと情報カードサービス(KICS-LLC)やオムロン株式会社からの支援をいただけるようになりました。

更には、各プロジェクトへの寄附が1814件、総額で1251万9千円、多くの方たちに支えられてきたのだと改めて思います。

これまでに設置された太陽電池モジュール(パネル)の総計は401枚。発電規模総計は66.77kW、1年間に約60,000kWhの電気を作ってくれと予想されます。そして累積発電量総計は、今年6月末で171,515kWhとなりました。

これで削減できる二酸化炭素(火力発電換算)は、年間39,600kg-CO₂となり、累積では113,200kg-CO₂となりました。1号機であと14年、10号機はこれから20年、電気を作り続けてくれるはずですから、この10機の設備が削減すると期待できる二酸化炭素は、約800,000kg-CO₂となります。あるデータによると、日本人一人当たりの年間排出量は約10tですから、10機の発電所が20年頑張っても80人分にしかならないとも言えます。

省エネ、温暖化の歯止めに一歩ずつ

しかし、おひさま発電所では、設置が決まった段階から点灯式まで数回、設置後も環境学習を継続していることで、施設で働く人、園児、更には保護者にまで省エネルギーの意識は確実に高まっています。子どもたちが率先して蛇口をしめるようになったと聞きますし、リサイクル食器の利用など、ゴミを出さないバザーやお祭りが広まっています。これらの波及効果はなかなか数字には表れにくいものですが、おひさま発電所の何倍もの二酸化炭素削減につながっていくのではないかと期待しています。

幼い園児たちが、地球温暖化、省エネということを学んでいる姿には、わが身の子供時代を振り返り、痛々しさを感じてしまうのですが、この厳しさが現実です。小さな子供たちの日々の努力が将来必ず報われることを願い、信じて20号機、30号機を目指して行きたいものです。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 きょうとグリーンファンド市民共同発電所一覧表 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

	設置施設名	点灯式	所在地	総事業費 (万円)	発電規模 (kW)	発電予想量 (kWh/年)	累積発電量 2007年6月末
1号機	法然院森のセンター	2001/3/3	左京区	390	3.96	4,000	16,327
2号機	あけぼの保育園	2002/2/10	伏見区	566	5.00	5,000	28,155
3号機	清仁保育園	2003/2/1	城陽市	1,675	5.04	5,000	21,365
4号機	清心保育園	2003/2/8	城陽市		5.04	5,000	25,781
5号機	夢窓幼稚園	2004/1/17	右京区	667	4.75	5,000	19,132
6号機	陵ヶ岡保育園	2004/12/4	山科区	683	5.32	5,000	15,974
7号機	春日野園	2005/1/15	伏見区	838	5.36	5,000	16,856
8号機	大宮保育園	2006/1/14	北区	1,100	10.08	10,000	20,656
9号機	かがやき保育園	2006/12/15	伏見区	1,043	10.75	10,000	7,273
10号機	妙林苑	2007/5/12	北区	1,264	10.75	10,000	***

“こんな省エネ実践を楽しんでまあ〜す”

近藤大晴 (きょうとグリーンファンド会員)

☆外置き扇風機



ベランダやテラスなどに雨がかからないようにして扇風機を外に置き、サッシの網戸越しに部屋内に風を送ると涼しいです。ただし、日没以降、外の気温が下がってからすること。部屋のほかの窓を開けるか、換気扇で排気するとさらに効果的です。宵のうちから回しておく、寝る頃には熱気が取れてエアコンがいらないくらいです。

☆冷蔵庫のたまごトレイ

皆さんは買ってきたたまごを冷蔵庫のトレイに入れる時どのようにされていますか？扉を開けたまま1個ずつ入れると手早くやっても1分近くかかってしまいます。そこでたまご用のトレイだけを取り出し同じ大きさにダンボールまたは厚紙をカットしトレイの底に梱包用テープで固定します。こうするとテーブルの上などでトレイにたまごを並べられます。あとはトレイごと冷蔵庫に入れるだけで扉の開閉時間はほんの数秒で済みます。

(冷蔵庫の機種によっては、いろんなパターンがあります。)

☆ガス給湯器は待機電力がくせもの

一般家庭で待機電力が最大なのがガス給湯器。(自宅の場合リモコン「切」にしている時の数値が16w)給湯器が外にあるためいちいちプラグを抜き差しできないので部屋内に元スイッチをつけてもらい、お湯を使う時だけ元スイッチを入れて給湯器のリモコンを操作します。特に夏場はお風呂の時以外は終日オフです。1日20時間オフにすると年間117kwhの節電になります。窓の隙間などから防雨型の延長コードをだしても中から入り切りできます。また、これとは別にシャワーや洗顔、洗い物などで

給湯器を使う時、終了の少し前にリモコンで「切り」にすると給湯器から蛇口までの配管内にあるお湯が無駄なく使えます。洗面所では給湯器を切つても3.7リットルのお湯が出ました。

☆テレビは主電源を切ること

だけが能ではない

一般的なブラウン管式テレビの画質調査の輝度(説明書によっては明るさ、ブライツ、ブライツネスなど)を低く設定することにより大幅な節電になります。例えば21型テレビの場合、メーカー初期設定のままだと消費電力80wのところが見られる範囲で輝度を下げると60wに下がります。(データはいずれも実測値)大型テレビであるほどその効果は大きくなります。



☆アイドリングストップ

2年ほど前からアイドリングストップを励行していますが、停止のトータル時間がわかるようにキッチンタイマーに少し手を加えて、自動的に積算表示できるようにしました。これにより「今日は3分いった」、次の日は「5分いった」などモチベーションの向上になります。アイドリングストップは車内が静かになりゆったりした気分になりますが、進行状況はしっかり把握する必要があります。

今年の夏は記録的な猛暑でしたが、皆さんはどんな省エネに取り組まれましたでしょうか。

省エネのノウハウについては、公的機関や環境NGOなどからたくさんの情報が飛び交っている昨今ですが、近藤さん実践の省エネ術は目からウロコでした。

皆さんも是非、できそうなものから実践してみてください。他にも省エネの生活の様子を投稿をお待ちしています。(龍池 妃都美)

おひさま発電所の展開 in 京都

大西啓子（きょうとグリーンファンド）

… 「温暖化防止のために何かしたい」という個人の思いから始まった市民共同発電…
…所ですが、滋賀県石部で1号機が出来てから10年目、全国で160ヶ所を超える…
…発電所が出来ているそうです。資金集めの方法もいろいろ、自然エネルギーも多彩…
…で国の施策の遅れ？を市民が補っている風で、まさに「市民の工夫の賜物」という…
…感じがします。 …
…今回5回目を迎える全国フォーラムにパネラーとしてきょうとグリーンファンドも…
…参加をしました。他団体との連携を中心に、報告の一部をご紹介します。 …

花灯

路推進協議会主催／構成団体：京都府・京都市・京都商工会議所・京都仏教会・京都市観光協会ほか)で使用される電気の一部に使うというもの。現在、12月のポスターにはロゴや文言を掲載するべく協議が進行中です。

1) 京エコロジーセンター

(財団法人 京都市環境事業協会)

- ① わかば・かんきょうきょうしつ
「おひさま発電所」のある保育園で、国際ソロブチミストわかばの助成を受け、腹話術による環境教室が開催されました。今後にも継続の予定。
- ② 京都市教育委員会とのパイプを使って、教育施設に対しおひさま発電所の見学会開催を働きかけてもらっています。小学生や中学生がおひさま発電所を見に来て貰えたらいいな、と思っています。

③ 「企業活動WG」では、中小企業に関する地域社会貢献活動に取り組む市内の事業者が中心となって、「京都環境コミュニティ活動プロジェクトチーム」が活動中。おひさま発電所づくりとの連携を進める予定で見学会なども企画されています。

2) 京のアジェンダ21フォーラム：

「自然エネルギーWG」に、きょうとグリーンファンドも最初から参加してきました。

- ① 自然エネルギー・コミュニティづくり・プロジェクト
おひさま発電所を核として、地域ぐるみで自然エネルギー普及を進めるプロジェクト。商店街・学校・児童館・お寺と市民・地域の中企業などとの連携が始まりそうです。
- ② 京都版・グリーン電力・プロジェクト
おひさま発電所で発電した電気の自家消費分の環境付加価値を証書化し、「京グリーン電力」として、買ってもらう試みです。さあ、あたっては、嵐山(07/12月) 東山(08/3月)

3) 特定非営利活動法人・KES 環境機構

「KES・環境マネジメントシステムスタンダード構築の手引き(8版)」の環境取り組み状況チェックリストに、「自然エネルギーの市民発電所づくりの取り組み等に寄付や参加したことがある」という項目が掲載されました。企業などからの支援も少しずつ増えてきましたが、この点についてはあらためてご報告いたします。

おひさま発電所は、次第に京都になじんだ存在となりつつあるような気がします。さまざまな連携が生まれ、名実とも「京都市民のおひさま発電所」となる日も遠くないのではないのでしょうか。



太陽光発電の導入数「世界一」からすべりおちた日本

林 敏秋 (ワーカーズコープ エコテック)

ドイツとの制度、政策に違いが

「太陽光発電の導入量世界一」という原稿をこのニュースで書いたのは3、4年前ぐらいだとおもう。2005年に日本は「世界一」の座から引きずりおろされた。世界一の座に着いたのはドイツである。2005年度の日本の導入量は29万kW、ドイツは60万kWだった。この時点で累積導入量は日本143万kW、ドイツ154万kWと11万kWもの差がついてしまった。「世界一」が好きな日本政府や経産省の官僚たちは、この時相当悔しがったらしい。その証拠に今年の6月頃になって「なぜ日本が太陽光発電で世界一になれたのか」という豪華な書籍を発行し、NEDOの補助金説明会などで無料配布をはじめたのである。ドイツとの差は2006年度さらに開いて日本29万kW、ドイツ115万kW、累積導入量は日本169万kW、ドイツ286万kWと100万kW以上も差が付いてしまった。

こうした結果をもたらした理由はいろいろあるが、最大の要因は国の自然エネルギーに対する政策の違いにある。日本は、「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」(RPS法)によって電力会社に自然エネルギーでの発電量を割り当てている。その割合目標は2010年で1.35%だった。電力会社は、自然エネルギー設備の新規設置の努力をせずともクリアできる数値だといわれていた。そんなこともあって今年この数値が見直されたが、2014年で1.63%というもの

であった。一方ドイツが参加するEUの政策は、一次エネルギーの再生可能エネルギー比率を2020年で20%にするという意欲的なものである。ドイツは再生可能エネルギー法によって電力買い取り価格が、数倍というの是有名な話だ。

生産品の約65%が輸出に



この結果、現在日本で生産された太陽電池は、2006年段階で約65%が輸出に廻されている。メーカーの人に聞いても国内販売価格より海外販売、特にヨーロッパは高い価格で買ってくれるという。日本国内の太陽光発電の市場は、国の住宅用補助金政策が2005年に終了したこともあり、低迷を続けている。店をたたんだという販売店の噂もよく耳にするし、売上げが半減したという声も聞く。メーカーに聞いてもやはり2~3割減ったというところもある。販売価格も底をついて上がりはじめている。新エネルギー財団が発表したものでも05年66万円/kW、06年68万円/kWとなっている。

地球温暖化防止の切り札として期待されている太陽光発電が、そのかけ声と裏腹に日本国内では厳しい局面にたたされているのである。採算を度外視した個人の環境を重視するボランタリーな取り組みで「世界一」となったが、やはり制度、政策まで高めないとホンモノにはなり得ないことが明らかになった。参議院選での民主党の躍進で政権交代が叫ばれている今こそ、日本の自然エネルギー政策の転換を強く叫ばなければならない。

2007年総会を終えて

事務局長 大西啓子

総会の参加者は15名。正会員総数49名で、委任状をいただいた方は13名、定足数に達していますので、立派に「成立」なのですが、毎年これでいいのかと考え込んでしまいます。参加者15名の大半は理事と事務局スタッフ、理事会とほぼ同じメンバーで年1回の総会が成立しているのです。幸いおひさま発電所設置事業はかなり順調ですが、活動を根っこで支えていただきたい「正会員」の数は減少傾向で、スタッフはいわゆる「ボランティア」に近い状態で、かなり「NPOらしく」活動を続けています。わざわざきょうとグリーンファンドの総会に併せて東京から参加してくださる会員さんもいらっしゃいます。新しい連携も

始まりそうです。事業の展開を楽しみに、今年も楽しく活動できたら、と思います。…ホンネ、もっと会員が増えたらええのに。会員さんが増えるにはどしたらいいんやろか…良いお知恵がありましたら、お貸してください。

ホームページが新しくなりました

きょうとグリーンファンドは、寄付金が所得税控除の対象となる「認定NPO法人」を、大阪国税局に申請中です。これを機に多くの人々に、きょうとグリーンファンドの活動をご理解していただくために、ホームページを新しくしました。ご覧いただいて意見をいただけますようお願いいたします。

<http://www.kyoto-gf.org>

□きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

I. まず、会員の種類を お選びください。 (入会申し込み書は事務局まで)

正会員	10000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。 ★「NPO法人社員」として会の運営に参加することができます。
賛助会員	6000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。
法人・団体会員	10000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回 [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆ 正会員…年1回 10000円(入会月)が引き落とされます。 ◆ 賛助会員…年1回 6000円(入会月)が引き落とされます ◆ 法人・団体会員…年1回 10000円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆ 正会員…年1回 4500円(入会月)と、月々500円が引き落とされます。 ◆ 賛助会員…月々500円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

< ぐりふあん日誌 >

- | | |
|---|--|
| 5/21 自然エネルギーWG | 7/11 事務局会議 |
| 5/22 春日野園 グリーンカーテン作り(ゴーヤ植え付け) | 7/17 京都環境コミュニティ活動事業プロジェクト
チーム来室、懇談
下京税務署相談 |
| 5/24 妙林苑打ち合わせ(パンフ作り) | 7/18 大宮保育園ワークショップ(エコすごろく作り) |
| 5/28,29 大阪国税局認定要件調査 | 7/21 大宮保育園夏祭り |
| 5/29 第57回理事会 | 7/25 つくし保育園打ち合わせ
妙林苑プロジェクト最終確認、打合せ、他 |
| 6/1 三条商店会訪問おひさま発電所設置の説明 | 7/30 自然エネルギーWG |
| 6/2 2007年きょうとグリーンファンド総会(ひと・まち交流館) | 8/2 大阪経済大学来室ヒアリング |
| 6/12 伏見区醍醐つくし保育園訪問、設置了解 | 8/9 木村税理士と相談 |
| 6/15 妙林苑パンフ打ち合わせ | 8/10 下京税務署相談、収益事業開始届け、
給与支払事務所等の開設届出書提出 |
| 6/17 春日野園雨水タンク設置ワークショップ | 8/23 認定申請について相談 |
| 6/18 妙林苑パンフ打ち合わせ | 8/28 下京税務署相談 |
| 6/21 高倉幼稚園「わかば・かんきょうきょうしつ」開催
(熊森協会)下京税務署 相談(担当:小山) | 8/30 自然エネルギーWG |
| 6/25 妙林苑「わかば・かんきょうきょうしつ」開催(腹話術) | 9/1 つくし保育園スタッフ対象学習会 |
| 6/26 臨時理事会(つくし保育園・認定NPO法人) | 9/5 事務局会議 |
| 6/27 HPについて打ち合わせ
自然エネルギーWG、グリーン電力研究会 | 9/6 第59回理事会 |
| 6/29 京都CSR研究会 | |
| 7/10 自然エネルギー・コミュニティ・プロジェクトについて
ヒアリング | |

特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

事務局 〒600-8104

京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143

いづつビル6F (火～金 13:00～17:00)

TEL/FAX 075-352-9150

E-mail info@kyoto-gf.org

ホームページ <http://www.kyoto-gf.org>

